

かんしゃ た 感謝して食べよう



11月

給食がみなさんのところに届くまでにはたくさんの人たちが関わっています。お礼を言える機会は少ないですが、食事のあいさつや食べ方で感謝の気持ちを伝えましょう。

かたち あらわ かんしゃ きも 形にして表そう「感謝の気持ち」

まずは食事に感謝の「いただきます」から

食事のあいさつは、私たちの食糧となった動植物の命をいただくことへの感謝の気持ちを表しています。



よく味わって食べよう!

食べる人を慮って作られた料理を好き嫌いせず、よく味わっていただくことも、食べ物や作った人への感謝の気持ちを表します。また、食事のマナーを守り、みんなが楽しく気持ちよく食べられるように心がけましょう。



「ごちそうさま」ではねぎらいの気持ちを

「ごちそう」は漢字で「御馳走」と書きます。もともとは食事を作るために方々を駆け回って材料を集めてくれた人へのねぎらいの気持ちを表す言葉でした。

このあいさつは、食事作りに関わる人の思いや苦労、そして努力に感謝する気持ちを表します。



ありがとう!

おもいやりの気持ちで後片付け

食器の扱い方、配膳、はしの使い方、そして後片付け、そのどれもが作った人への敬意や感謝の気持ちを表すものになります。

とくに後片付けは、作業する人のことを考え、決められた方法できちんと返しましょう。

